

第5号 南部箕蚊屋広域連合

まめ・カフェ通信

～第5回まめ・カフェ開催報告～

平成30年9月27日(木) 18:30～20:00

ヴィステヒえづ 2階 第1・2会議室

参加者 43名(参加者 32名、スタッフ11名)

(医師、薬剤師、保健師、看護師、理学療法士、介護福祉士、
介護支援専門員、管理者、生活相談員、福祉用具担当者)

【アンケート結果より】(回収数 30)
まめ・カフェに参加していかがでしたか？

1. 大変良かった 16
2. よかった 14

事例発表「最後までやり切る

～連携を振り返って～」



皆さまからの募金より、飲みものとお菓子を準備
させていただきました♪

事例発表を聞いた後、グループでディスカッション
を行いました。どのグループも活発に意見が交わ
され、アっという間に時間が過ぎました☆

まめ・カフェとは??

医療や介護、地域に関わる私た
ちの仕事ってまめでなければつ
とまらない。

「まめなかや?(元気です
か)」と、こまめな声かけが関
係づくりの第一歩!...多職種が
気軽に集ってまめに話せる場所
が欲しい☆という声からできた
のが、まめ・カフェです♪

日野病院居宅介護支援事業所
介護支援専門員 桑原 理沙さんに『最
後までやり切る～連携を振り返って～』
と題して、在宅での最期を望まれた利用
者さまを支援した事例について発表いた
だきました。



状態が刻々と変化していくご本人への
対応、ご家族の揺れ動く思い、そして不
安感への対応について、専門職としてど
う関わり・他の専門職へどう繋ぐのか…
事例を振り返ってお話しいただきました。



《参加者の感想》

- ・他職種の様々な参考となる話、意見が聞けました。
- ・顔の見える関係が作れるのが、何よりも嬉しいです。
- ・新しい情報をゲット！参考になりました。
- ・他職種連携、それぞれの情報交換の重要性について再確認をしました。
- ・このまめ・カフェで初めて会う方もおられたが、顔見知りとなり今後の連携がやりやすくなっていくものとなりました。
- ・色々な専門職が情報を共有して、利用者を支援することが大事と思いました。
- ・小さなグループ内での話し合いが一番わかりやすく勉強になり、一人ひとりの意見、思いを聞けることが楽しみです。
- ・各職種で感じている連携のしにくさ、連携するための工夫が話し合えてよかった。
- ・様々な職種の方の意見は参考になる。「わかるでしょ」というのではなく情報がどう理解されているのかを常に確認していきます。
- ・みんな頑張っているのだなと思い、私も頑張ろうと思え、力をもらいました。
- ・在宅での看取りができるのは幸せなことです。実際、できない方が多いです。



- ・とても良い事例でした。最後在宅で終わられたら良いのですが、本人の気持ちと家族の気持ちが違う時が…。なかなか良い援助ができない時があります。
- ・同じ専門職の人からアドバイスがもらえて、頑張ろうと思いました。
- ・プロ意識をもって仕事をしているのでドーンと任せていいなと思いました。福祉用具さんの意見が大切ですね。事業所側も、もう少し多いといいですね。



【 今後の取り組みについて…ご意見、ご要望 】

- ・終活について
- ・連携のためのツール
- ・他職種の方の苦勞話
- ・グループディスカッションは良いと思います。
- ・もっと色々な職種の方が参加できる研修を…と思います。
- ・しっかり前を見て勉強できると、沢山の思いを聞くことができるので、お願いします。
- ・グループで話す時間が多くなって良かったです。

まだなかなかフランクに話せるわけではないので、もう少しなじめるようになれると良いと思いました。



アンケートにご記入いただいた内容の一部をご紹介させていただきました。

ご協力ありがとうございました。今後の会の活動に繋げていきたいと思ひます。

次回も、皆さまのご参加をお待ちしております！